

動物実験に関する検証結果報告書

（富山大学）

動物実験に関する相互検証プログラム

（国立大学法人動物実験施設協議会・公私立大学実験動物施設協議会）

平成 24 年 1 月

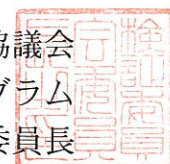
平成 25 年 3 月 11 日

富山大学

学長 遠藤 俊郎 殿

貴機関における動物実験の実施体制に関して、提出された自己点検・評価結果報告書に対する検証結果を通知します。

国立大学法人動物実験施設協議会・公私立大学実験動物施設協議会
動物実験に関する相互検証プログラム
検証委員会 委員長



対象機関：富山大学

申請年月日：平成 24 年 8 月 8 日

訪問調査年月日：平成 24 年 11 月 30 日

調査員：下田 耕治（慶應義塾大学）

松田 幸久（秋田大学）

検証の総評

富山大学（新）は平成 17 年 10 月に旧富山大学、富山医科薬科大学および高岡短期大学の再編・統合により発足し、8 学部、10 部局を有する総合大学である。動物実験は杉谷キャンパス（医学部・薬学部）と五福キャンパス（理学部・工学部）で行われており、「富山大学動物実験取扱規程」に基づき全学的な動物実験委員会が組織され、文部科学省の基本指針に則した適正な動物実験管理体制が構築されている。両キャンパスに設置された 33 か所の飼養保管施設は作業手順書（マニュアル）を整備し、各施設の自己点検・評価報告書を作成し動物実験委員会に提出している。学長はこれらの報告書を確認することにより、全学における実施状況を確実に把握している。平成 24 年度から動物実験計画の電子申請・審査システムが導入され、より効率的な審査体制を整えるとともに、各委員の意見の共有も図られている点は高く評価できる。

杉谷キャンパスの中核施設である生命科学先端研究センター動物実験施設の一部は築 30 年以上経過し老朽化しており、感染事故等の危険因子となっているため現在増改修工事が行われているが、施設改修計画に沿って確実な改善を推進されたい。また、現在行われている情報公開の内容や手段は適正であるが、年度ごとの実験動物の飼養および保管の状況等をホームページ上に掲載するなどさらなる充実を図られたい。

検証結果

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 機関による自己点検・評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 <input type="checkbox"/> 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 機関内規程が定められていない。
2) 自己点検・評価の妥当性
「富山大学動物実験取扱規程」が平成 19 年 10 月 1 日に制定され、その内容は文部科学省の基本指針に則したものである。よって、動物実験に関する機関内規程について、自己点検・評価は妥当である。
3) 検証の結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 <input type="checkbox"/> 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 機関内規程が定められていない。
4) 改善に向けた意見
特になし。

2. 動物実験委員会

1) 機関による自己点検・評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれていない。
2) 自己点検・評価の妥当性
「富山大学動物実験取扱規程」第 7 条に示された 11 名の委員で構成され、基本指針が示す 3 種類の者を含んでいる。よって、動物実験委員会の整備状況について、自己点検・評価は妥当である。
3) 検証の結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれていない。

4) 改善に向けた意見

特になし。

3. 動物実験の実施体制

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。
- 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 動物実験の実施体制が定められていない。

2) 自己点検・評価の妥当性

「富山大学動物実験取扱規程」に基づき、「動物実験計画書」、「動物実験計画（変更・追加）承認申請書」、「動物実験（終了・中止）報告書」、「動物実験結果報告書」および「実験動物使用数報告書」が定められている。また、平成 24 年度からは「動物実験計画書電子申請・審査システム」が導入され、利用マニュアル、利用申請書、申請要領、記入例等が整備されている。よって、動物実験の実施体制について、自己点検・評価は妥当である。

3) 検証の結果

- 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。
- 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 動物実験の実施体制が定められていない。

4) 改善に向けた意見

特になし。

4. 安全管理を要する動物実験の実施体制

1) 機関による自己点検・評価結果

- 該当する動物実験の実施体制が定められている。
- 該当する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 該当する動物実験の実施体制が定められていない。
- 該当する動物実験は、行われていない。

2) 自己点検・評価の妥当性

「遺伝子組換え生物等使用実験安全規則」、「病原体等安全管理規則」、「放射線障害予防規程」、「有害科学物質の取扱いに関する手引き」が定められ、それらの付随文書も整備されている。よって、自己点検・評価は妥当である。

<p>3) 検証の結果</p> <ul style="list-style-type: none"><input checked="" type="checkbox"/> 該当する動物実験の実施体制が定められている。<input type="checkbox"/> 該当する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。<input type="checkbox"/> 該当する動物実験の実施体制が定められていない。<input type="checkbox"/> 該当する動物実験は、行われていない。
<p>4) 改善に向けた意見</p> <p>特になし。</p>

5. 実験動物の飼養保管の体制

<p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。<input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。<input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>「富山大学動物実験取扱規程」に基づき、「飼養保管施設設置承認申請書」、「実験室設置承認申請書」、「施設等廃止届」が整備されている。32 か所（1 か所は改修中のため使用停止中）の飼養保管施設は動物実験委員長による調査確認が行われ、管理者および実験動物管理者が選任され、飼養保管手順書（マニュアル）が作成されている。よって、自己点検・評価は妥当である。</p>
<p>3) 検証の結果</p> <ul style="list-style-type: none"><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。<input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。<input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>4) 改善に向けた意見</p> <p>特になし。</p>

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

<p>意見</p> <p>特になし。</p>

II. 実施状況

1. 動物実験委員会

1) 機関による自己点検・評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性
動物実験委員会は年に数回の集合委員会と、動物実験計画書の審査を行う毎月の持ち回り委員会が開催され、議事録も適正に記録・保管されている。平成 24 年度から導入された電子申請・審査システムでは動物実験計画書が提出されるごとに web 上で審査が行われ、全委員が審査の経過を共有し、それらの記録も適正に保管されている。よって、自己点検・評価は妥当である。
3) 検証の結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見
特になし。

2. 動物実験の実施状況

1) 機関による自己点検・評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性
年間 100 件程度の動物実験計画が承認され、それらは 3 年間有効である。現在有効である計画は 364 件であり、これらは毎年提出させる「実験動物使用数等報告書」によって実施状況を確認している。未提出は 11 件であり、適正に動物実験の実施状況を把握していると判断される。よって、自己点検・評価は妥当である。
3) 検証の結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

「実験動物使用数等報告書」の提出のみならず「動物実験結果報告書」の毎年の提出を義務づけるなど、より確実に動物実験の実施状況を把握することを検討されたい。

3. 安全管理を要する動物実験の実施状況

1) 機関による自己点検・評価結果

- 該当する動物実験が適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。
- 該当する動物実験は行われていない

2) 自己点検・評価の妥当性

安全管理を要する動物実験について「動物実験施設事故記録」が作成されているが、確認した結果、内容は設備・備品の故障等の記録であり、動物実験における安全管理上問題となる事例は認められず、適正に実施されている。よって、自己点検・評価は妥当である。

3) 検証の結果

- 該当する動物実験が適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。
- 該当する動物実験は行われていない

4) 改善に向けた意見

特になし。

4. 実験動物の飼養保管状況

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

中核的施設である生命科学先端研究センター動物実験施設および各研究室の飼養保管施設では飼養保管手順書(マニュアル)が整備されている。各飼養保管施設および実験室から「飼養保管施設・実験室の運用について自己点検・評価報告書」を提出させ、実施状況を適正に把握している。よって、自己点検・評価は妥当である。

3) 検証の結果 ■ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 □ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見 特になし。

5. 施設等の維持管理の状況

1) 機関による自己点検・評価結果 □ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 ■ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性 動物実験委員長および担当委員がすべての施設を点検し、適正に維持管理されていることを確認している。しかし、中央の動物実験施設では、昭和 50 年代に建設された一部の棟で老朽化が著しく、老朽化が原因と思われる微生物汚染事故も起こっている。よって、施設等の維持管理の状況について、「概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。」とした自己点検・評価は妥当である。
3) 検証の結果 □ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 ■ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見 現在行われている改修工事を着実に進めるとともに、新たな改修計画を作成し維持管理について検討されたい。

6. 教育訓練の実施状況

1) 機関による自己点検・評価結果 ■ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 □ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性 動物実験実施者等に対する教育訓練の実施記録や受講者の記録等がよく整理されており、基本

指針に則した教育訓練が実施されている。毎年 6 月に講習会が開催されるが、途中参加者には DVD による教育訓練も実施している。平成 23 年度は 428 人が受講し、教育内容は基本指針に則した内容である。さらに、学部学生や大学院生に対する動物実験に関する講義を行うなど、意欲が感じられる。よって、自己点検・評価は妥当である。

3) 検証の結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

特になし。

7. 自己点検・評価、情報公開

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

平成 22 年度から自己点検・評価を開始しており、自己点検・評価報告書は「動物実験に関する情報」として富山大学のホームページ上に集約的に公開されている。ホームページには動物実験に関係する学内規程や動物実験委員会名簿や審議事項なども公開され充実した内容である。また、「生命科学先端研究センター年報」も発行されている。よって、自己点検・評価は妥当である。

3) 検証の結果

- 基本指針に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

基本指針には公開する情報の例として「実験動物の飼養及び保管の状況等」も含まれているので、これらのホームページ上での公開を検討されたい。

8. その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)

意見

特になし。